



ひだまり

社会福祉法人 うちのなだの里
 就労継続支援B型事業所 うちのなだ福祉作業所
 〒920-0266 石川県河北郡内灘町字大根布と202番地5
 TEL:076-286-6386 FAX:076-286-6387
 E-mail:uchisato@yacht.ocn.ne.jp

秋号

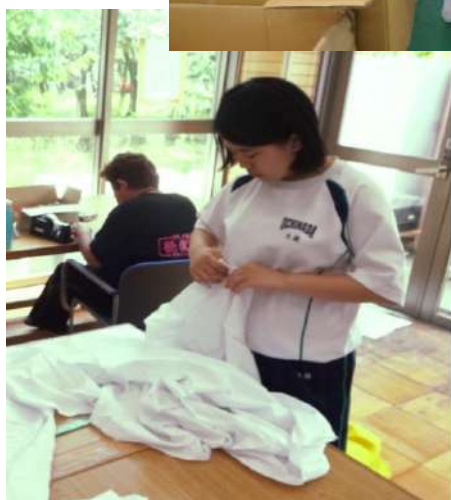


内灘中学わくわくワーク体験実習

七月二十四日(火)～七月二十六日(木)までの三日間、内灘中学二年生の三名の方が作業所へわくわくワーク体験実習に来られました。一生懸命ウエス作業をされています。忙しい作業に追われ重い荷物運びも素早く動いて頂き若さを感じました。

作業の合間にも利用者さんと笑顔で会話をされている姿も見られ今後の進路に何か感じるものがあれば幸いです。

これからも頑張ってください。



名誉ある賞を頂きました

今回、食品衛生管理責任者の研修にて焙煎工房ひだまりが表彰されました。日頃から利用者全員で手洗い、消毒、服装など周知徹底してお客様が安心して、料理を召し上がられるように努めて参りました。

今後とも、継続して衛生面に力を入れていきたいと思っております。

このような賞を頂き本当に有難うございました。



一泊旅行



九月十三日(木)～十四日(金)に能登方面へ行って来ました。



一日目は、「宇宙科学博物館コスモアイル羽咋」を見学しました。展示機械は本物やリアルなレプリカを見ることができとても楽しむことができました。あと宇宙食もいろいろあり、たこ焼きやケーキなどの斬新なものがあり、みんな驚いていました。

午後からは、インスタントラーメン、レトルトカレーと並んで戦後の食品三大発明と言われている『カニカマ』を製造している「スギヨ」の北陸工場を見学しました。作り立てのおいしい試



食もいただいてみんな満足でした。

次に就労継続支援B型事業所「パイソンの家」を見学しました。二階で釣りのルアーを作っていました。とても細かい作業でしたが、利用者の方々は、器用に作っていました。

次に「花嫁のれん館」を見学しました。一生に一度だけ使われる婚礼道具の『花嫁のれん』は、いろいろな色や柄が展示されており、特に女性の方は目が輝いていました。

その後、和倉温泉「のと楽」へ向かい、美味しい料理を食べ、恒例のカラオケ、ビンゴ大会、そしてゆっくりと温泉に入り、その日の疲れをとりました。



二日目は「のとじま水族館」へ行きました。迫力のジンベエザメ、ペンギンのお散歩、そして最後にイルカ・アシカショーを見て、水族館を後にしました。

最後の「能登島ガラス工房」では、ガラスコップの表面に砂を吹き付けるサンドブラスト体験でいろいろなシールを貼りました。

楽しい二日間はあっという間に過ぎ、利用者の方々も職員も大満足で帰路に就きました。



除草作業

九月二十八日（金）秋の除草作業をしました。

遊歩道の決められた区間を皆で草刈りをしました。暑かったこともあり、汗を流しながらの作業でした。虫も多くな顔や足、体の色々なところを刺され、かゆい思いをしながら頑張っていました。

終わった後に遊歩道を見渡すと、とても綺麗になり見違える姿になっていました。



★夏祭り★

八月二十五日（土）に作業所内で夏祭りをしました。

利用者さんそれぞれに射的やくじ引きなどで大いに盛り上がっていました。

また、暑い日でもあり、かき氷やポップコーンなどを食べて残り少ない夏を楽しんでおられました。

ハイ
当てるよ
下のほう狙
うと当たる
よ〜！



石川県障害者ふれあい
フェスティバル

九月三十日（日）石川県障害者ふれあいフェスティバルに店舗販売しました。今年は台風の影響もあり、当日まで開催が危ぶまれましたが、無事開催されることとなりました。

ふれあいフェスティバルの飲食のブースでは焼きそば・フランクフルトを販売し、セルプブースでは作業所のクッキーやコーヒーの販売をしました。会場のステージでは、ダンスや歌や演奏などがあり、幅広い年齢の方々が楽しまれていました。

ウエス材料のお願い

ウエス材料が不足しています。

不要になった綿のTシャツ、タオル等、ご協力お願いします。なおウエスとして利用できるものは綿35パーセント以上です。

第三作業室での仕事紹介

第三作業室では主に、機械の整備等で使用する油拭き、清掃等で使用する布巾（作業所ではこれらをウエスと呼んでいます）を作成しています。ウエスは内灘町女性協議会の協力を得て、家庭から出る古着の回収を行い、その後、素材別に分別し各々の大きさに裁断しています。裁断も使用する人の気持ちになり、できるだけ使いやすい形に切っています。また、これらの材料は皆の協力のもとで作られているものなので、できるだけ無駄がでないよう作成しています。

私たちがこのように作業をできるのも、皆様のご協力のおかげだと思っております。感謝をするとともに引き続きご協力の程よろしく願います。



おイモを収穫して・・・

夏の機関誌ではジャガイモ掘りをご紹介いたしました。秋号ではサツマイモ掘りをご紹介させていただきます。

毎年、恒例ではあります。今年もサツマイモ掘りをしました。今年は例年と少し違う方法で栽培をしました。その成果もあり、今までにないとても大きなサツマイモを掘ることができました。利用者さんも、イモが大きいため悪戦苦闘して掘ってました。しかし、掘り終わった後には、掘った達成感と喜びがいっぱいに感じることもできました。



編集後記

今年の夏は、皆様もご存じのとおり、本当に暑い日々が続き作業所内でも、「暑いね〜」などの言葉がたくさん飛び交っていました。何をすることも暑さが邪魔をし、そのような厳しい環境にもかかわらず色々な作業を頑張ってこれたのではないかと感じます。

ようやく季節も涼しくなり、過ごしやすくなったのではないのでしょうか。作業所では、毎年恒例のメインイベントである一泊旅行に行ってみました。今年の猛暑を一緒に乗り越えた仲間達と、温泉に浸かり思いっきり楽しんでくることができました。

